

2020年11月8日(日)

バードウォッチング入門⑧

～ヨシ原の冬鳥～

この時期になると、ヨシ原では様々な鳥が越冬のために飛来します。ヨシ原内で昆虫などを採餌する小鳥や、その小鳥をねらう猛禽類などを観察し、鳥たちがどのように過ごしているのかを学びました。



最初にヨシ原で見られる冬鳥を紹介。オオジュリン、ツリスガラ、チュウヒ、ハイロチュウヒの4種を説明しました。



観察の前に公園ボランティアグループ「葦の会」のメンバーから双眼鏡の使い方の説明がありました。



ヨシ原1周コースを観察しました。やや風があり、ヨシにとまる小鳥は観察が難しそうでした。



チュウヒ

ハイロチュウヒ

しばらくするとチュウヒとハイロチュウヒのメスが出現しました。小鳥やネズミを狙うタカの仲間です。



園路側の茂みでホオジロのメスが見られました。よく似たオオジュリンとの違いを確かめました。



ヨシの茎の皮をはがしてピワコカタカイガワモドキを観察。オオジュリンやツリスガラのエサになります。



北側の堤防から山口湾を観察。秋穂二島の干拓地でチュウヒとハイロチュウヒがねぐら入りすることも紹介しました。



オオジュリンはじっくり観察できませんでしたが、時々鳴き声や飛翔姿は確認できました。



テーマの鳥以外にも、干潟ではクロツラヘラサギ、ヨシ原池ではトモエガモが見られ、様々な冬鳥の観察を楽しむことができました。



今回はチュウヒやハイロチュウヒの飛翔姿がじっくりと観察できました。ヨシ原は開発などで減少しており、このような鳥が見られる場所は貴重な環境といえます。